

# 平成 21 年度支援 Web システム報告

学習サポーター制度支援ウェブシステムの発展的構築として、以下のことを実施した。

## (1) 報告書作成・事例データベースサブシステム：

### 1) サポート事例データベース化のための報告書（テンプレート）の改良（2 学期）

- ① 支援科目（担当教員）ごとに支援内容を報告（リアルタイムFD実施のため）
- ② 「特につまずいていた点」を報告（同上）
- ③ サポート合計時間数を自動記載（サポートを所定時間数以内で実施させるため）

#### ◆2009 年度 1 学期

学習支援報告書

【学習サポートの通算回数】1 回

【サポーターの所属と氏名】機械創造工学 M1 ○○○○

【日付および時間】2009 年 5 月 12 日(火) 16:20～17:50

【場所】工作センター 201

【対象学生の所属と学年】機械創造工学 B2

【全対象学生氏名】○○○○,○○○○,○○○○

【出席者】○○○○,○○○○,○○○○

【欠席者(事前連絡あり)】

【欠席者(事前連絡なし)】

【支援した科目およびその内容】

水力学－圧力分布について

【学生の取り組みの様子や気がついたこと】

質問が少ない

【実施責任者への連絡】

#### ◆2009 年度 2 学期

【サポーター】電気電子情報工学 M1 ○○○○

【対象学生】電気電子情報工学 B2 ○○○,○○○

【サポート回数】2

【日付および時間】2009-10-14(13:00～15:00)

【場所】図書館 3 階

【出席者】○○○,○○○

【欠席者(事前連絡あり)】

【欠席者(事前連絡なし)】

■1

【支援した科目名】工業基礎数学Ⅱ

【支援した科目の担当教員】△△

【支援内容】

微分方程式

【特につまずいていた点】

$u=y/x$  を使わないと解けない問題。

$y$  や  $u$  と  $x$  との分離が易しくない問題。

(中略)

■3

【支援した科目名】基礎情報処理演習

【支援した科目の担当教員】□□

【支援内容】

最大公約数を求めるためのフローチャート

【特につまずいていた点】

フローチャート特有の分岐や実処理を表す記号がどがどに当たるのか、この書き方で、想定する流れを表せているのか。

【学生の取り組みの様子や気がついたこと】

熱心に勉強していると思う。勉強する姿勢に対する問題はない。

【今月の合計時間数】04:00

【今学期の合計時間数】04:00

## 2) 事例データベース作成、報告書閲覧システム構築 (2 学期)

学習支援報告書を事例データベースとして蓄積し、サポーター及び教員がウェブ上で各サポーターごとのサポート内容を日付順に一覧できるようにした。閲覧できるのは公開項目(「支援した科目名」「支援した科目の担当教員」「支援内容」「特につまづいていた点」「学生の取り組みの様子や気がついたこと」)のみ。

### (2) FD支援サブシステム :

サポート事例自動配信(メール)システムを構築し、学習支援報告書の内容を科目担当教員にメールで送信する「リアルタイムFD」を試行した。学習者のつまづき事例(サポーターの対応含む)を授業担当教員に配信することで、学習サポートの内容を授業改善に役立てるのがねらいである。(2 学期)

#### ◆リアルタイムFD送信例

3

2009 年度 2 学期

【サポーター】電気電子情報工学 M2

【サポート回数】6

【日付および時間】2009-12-11(18:00~20:00)

【対象学生】建設工学 B1

【支援した科目名】数学演習 2

【支援した科目の担当教員】△△

【支援内容】

積分の応用問題について説明

【特につまづいていた点】

基本的なことは理解しているようでしたが、難しい式変形になると難しいようです。

【学生の取り組みの様子や気がついたこと】

熱心に取り組んでいました

-----〈★以下、091207 既送信分〉-----

2

2009 年度 2 学期

【サポーター】電気電子情報工学 M2

【サポート回数】3

【日付および時間】2009-11-25(14:30~16:30)

【対象学生】建設工学 B1

【支援した科目名】数学演習 2

【支援した科目の担当教員】△△

【支援内容】

積分の演習問題の指導

【特につまづいていた点】

$\sqrt{(x-1)/(x+1)}$ の積分など、部分積分と置換積分の両方を使用する問題でつまづいていた。

【学生の取り組みの様子や気がついたこと】

各自、熱心に取り組んでいました。

-----〈★以下、091124 既送信分〉-----

1

2009 年度 2 学期

【サポーター】電気電子情報工学 M2

【サポート回数】2

【日付および時間】2009-11-13(18:00~20:00)

【対象学生】建設工学 B1

【支援した科目名】数学演習 2

【支援した科目の担当教員】△△

【支援内容】

積分の演習問題について指導しました。

【特につまづいていた点】

基本的なことは非常によく理解しているようでしたが、置換積分法の応用問題でつまづいていました。

※「平成21年度リアルタイムFD報告」を参照。

### (3) 個別教育・自己学習支援サブシステム :

学習者の学習履歴(入学前学習・プレースメントテスト・補習・学習サポート/授業)のデータベース化を行い、学習者ごとに学習成果を時系列で表示できる学習履歴閲覧システムを構築した。(3 学期)

以上の支援ウェブシステム構築・改良により、教員・サポーター間でサポート事例の共有が可能となった。また、リアルタイムFDの試行は、サポート内容を教員の授業の見直しに役立てただけでなく、学習サポート制度への教員の意識を高めることにもなった。さらに、学習者の学習履歴のデータベース化によって、これまでまとめられていなかった様々な学習支援のデータを統一的に見ることができるようになった。学生への個別学習指導のための基礎データが作成できた。

以上